

A film by Liliana Cavani

Wenn Ich mir was
wunshen durfte.



THE NIGHT ノーカット完全版 PORTER

愛の嵐

製作:ロバート・ゴドフ・エドワース ■監督:リリアーナ・カバニ ■脚本:リリアーナ・カバニ/イタロ・モスカティ
撮影:アルフィオ・コンティニ ■音楽(構成):タニエレ・ハリス ■出演:ターク・ホカート/シャーロット・ランプリング/フィリップ・ルロワ
1973年 ■米伊合作 ■カラー ■119分 配給:彩プロ

ノーカット完全版

愛の嵐

製作:ロバート・ゴードン・エドワーズ ■監督:リリアーナ・カバーニ
■脚本:リリアーナ・カバーニ/イタロ・モスカティ
撮影:アルフィオ・コンティニ ■音楽(構成):ダニエレ・パリス
■出演:ダーク・ボガード/シャーロット・ランプリング/フィリップ・ルロフ
1973年 ■米伊合作 ■カラー ■119分
配給:彩プロ



デカダンス。マゾヒズム。エロスとタナトス。堕ちゆく誘惑。求め合う肉体。
その男と女は、究極のセックスに身をゆだねた。

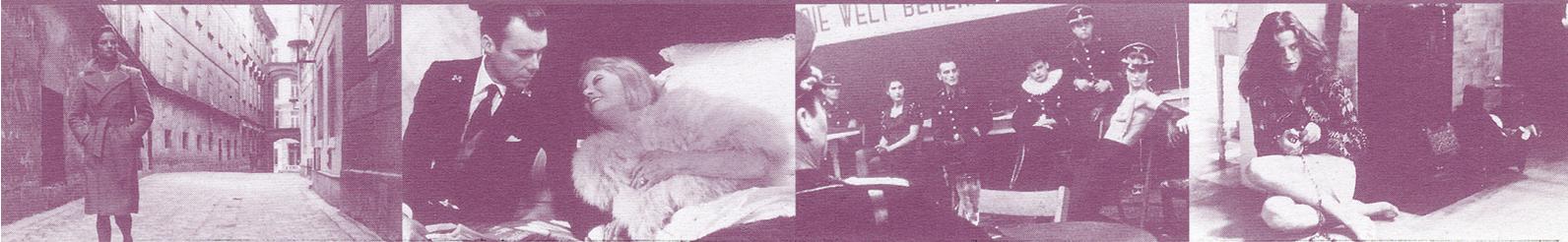
70年代当時、あまりにも過激でセクシャルな描写で全世界に衝撃を与えた伝説的な名作、あの『愛の嵐』が初めてノーカット完全版で、いま、甦る――。

そのスキャンダラスなテーマ性で欧米を騒然とさせながらも、巨匠ルキノ・ヴィスコンティ監督をして「悲痛で残酷で、恐ろしい程の傑作だ」と云わしめ、そのハードなセックス描写でパチカンを激怒させながらも、大ヒットを記録した映画史に残る傑作。日本でも、作家・渡辺淳一氏がその「シネマティック恋愛論」の中で強烈な印象を語り、女優・室井滋氏が「死ぬまでにもう一度見たい映画」の1本に取り上げ、映画ジャーナリズムも、「死と結びついたエロティシズムの本質を見事に描き、稀有の輝きを放っている映画」(今野雄二氏)といった評価に代表される如く、挙って高い評価を与えた。しかし、当時の国内的規制の為に、重要なセックスシーンの一部がカットされ、修整も加えられたのだった。

ウィーンの冬は暗く、寒い。石畳を突き刺さすほどの冷気。その凍える地で、再び触れあってしまった男と女。アブノーマルだった“あのとき”。避けなくてはいけない。肌を触れてはいけない。しかし、だからこそ、そこに、好奇と魔力と快楽がある。ふたりは、そのタブーの中でエクスタシーを求め合い、そして、堕ちていく……。この作品で一大センセーショナルを巻き起こしたリリアーナ・カバーニ監督の描いたリーサル・ラパース。その究極の愛の形態は、いまだからこそ、鮮烈なエロスとデカダンスの魅力を輝かせている――。

EXECUTIVE PRODUCER Joseph E. Levine PRODUCED BY Robert Gordon Edwards DIRECTED BY Liliana Cavani
SCREENPLAY BY Liliana Cavani/Italo Moscati DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY Alfio Contini MUSIC COMPOSED/CONDUCTED BY Daniele Paris
DIRK BOGARDE CHARLOTTE RAMPLING PHILIPPE LEROY GABRIELE FERZETTI ISA MIRANDA AMEDEO AMODIO MARINO MASE

THE NIGHT PORTER



7/19 [土] ~ 25 [金] ロードショー

1:50/4:10/6:30

前売一般=1,400円 (当日一般=1,700円 当日学生=1,400円)

ホワイトテイクの広場上がる 東へ5分

扇町ミュージアムスクエア
06・361・0088